

2022年11月24日

九州から日本を動かす! Move Japan forward from 九州! (163)

前回のメッセージで私のライフワークについて触れました。私は家業において会長となり、あまり現役陣の邪魔をしないようにという気持ちからライフワークに力を入れています。

その一つがここでも何度か書いた「H2E」で、ホスピタルマネジメント、ヘルスケアネットワークそしてエデュケーションです。

新発見をしました。最初のH二つは医療、病院或いは地域の健康や在宅医療管理に関することです。一方、Eの教育は学校経営で全く違う分野だという思いから、福岡雙葉学園を日本の英語教育の先導校にしていくという切り口などを考えていましたが、何と病院経営においてもカギの一つとして教育が深く関わっているということを知ったというか、改めて気が付きました。

「先生」と呼ばれる職業は、学校でも、病院であってもどうしても周りから先生と言われ続けていることで職業病というのかどうか分かりませんが、上から目線が知らず知らずに身につけてしまう職業のようです。私立の学校であれば転勤もなく同じ科目を何年も教えているということで視野というか間口の狭い方を多く見かけます。

考えてみると、医師も同じ分野を深く掘り下げていくのですが間口が限定されているケースが多いように感じます。その分野のスペシャリストにはなりますが、その臓器やその部位に関しての権威にはなることができても、患者全体を見ることがの重要性が最近強く指摘され、若い医師も総合診療医という分野を目指していく人が増えてきました。

飯塚病院を日本一のまごころ病院にするというストレッチゴールを進めている中で、医師やすべての医療スタッフへの教育の大切さが大きな鍵であることを最近感じたのです。立派な人格者、まごころある医療スタッフを多く院内に持っているということが、その病院全体の明るさ、医療の質の向上、そして職場全体のチームワークに大きく影響していくのです。同じ科であっても、医師やリーダーが変わることでその科が一気に変わるケースがあるのです。魅力あるリーダーづくり、その為の研修教育というか視野拡大の機会提供をすることが非常

に大事なのです。

教育は口から出た言葉を耳で受け止めて身につけていくという手法よりも、魅力ある人の言動を見て目から学習する方が身に着くというのはよく言われていることですが、H2Eがお互いに深く絡み合っていて、この教育事業の活動のやりがいと重要性が病院経営と深く関係している事実を体感し、更に私のライフワークのテーマのやりがいを感じています。

麻生 泰